

会議開催結果概要書

1 審議会等の名称	市立岸和田市民病院地域医療支援委員会
2 開催日時	平成30年11月15日（木）午後2時から午後2時30分
3 開催場所	市立岸和田市民病院 3階講堂（前）
4 公開・非公開の別	（ <input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開 ）
5 非公開理由 （非公開の場合のみ）	
6 出席者	委員 7名、事務局 10名、その他（ ） 名
7 傍聴人数 （公開の場合のみ）	0名
8 議題及び審議概要	<p>【議事概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 中山委員長挨拶 3. 案件(1) 地域医療支援病院業務報告（30年度）について 平成30年7月から9月の実績について事務局より説明 委員長：本報告についてご意見ご質問はないか。 各委員：なし 委員長：ご意見なしということで、本案件を了承する。 <p>案件(2) 市立岸和田市民病院からのご案内について 平成30年度市民公開講座「今からできる骨折予防-高齢者に多い骨折の予防と治療-」の開催案内と、健康講座「眼科の新しい治療法-見えにくいのは老眼のせいではないのかも-」の開催報告について事務局より説明。 委員長：本報告についてご意見ご質問はないか。 各委員：なし 委員長：ご意見なしということで、本案件を了承する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. その他 委員：人事について報告する。10月から総合内科の常勤医1名が着任した。総合内科外来、平日勤帯の内科救急等を担当している。11月発行の地域連携ニュースに挨拶文が掲載されているのでご高覧いただきたい。救急診療科に関しては、平成29年4月から常勤の

	<p>専門医が不在となっているが各診療科医師が輪番で救急診療を行っている事により救急車の受入件数を落とさずに運営することが出来ている。平成 31 年 1 月から常勤の専門医が 1 名着任することが決定した。これにより、救急診療体制がより充実すると思われる。</p> <p>また、連携医を始めとする医療関係者を対象とした岸和田地域連携フォーラムを平成 31 年 2 月 16 日 (土) に開催予定である。内容は講演会や当院の活動紹介等を企画している。特別講演では昨年度は京都大学医学部神経内科教授にパーキンソンについてご講演いただいた。今年度は京都大学医学部呼吸器内科教授による慢性閉塞性肺疾患についてのご講演を予定している</p> <p>委員: 着任する救急診療専門医についても一度教えて頂きたい。</p> <p>委員: 平成 31 年 1 月から着任予定である。元々は心臓血管外科が専門。ある病院の救急医療を立ち上げた医師で、縁があってこちらに来て頂けることとなった。</p> <p>委員: 年齢はいくつぐらいか。</p> <p>委員: 50 代である。</p> <p>委員長: 救急診療科の常勤医が一時不在で、各科医師が担当する形で救急対応していた、ということだが。</p> <p>委員: 夜間や休日は今までも各診療科医師が交替で担当していた。救急診療科医師が在籍していた時は、平日日勤帯は救急診療科医師と研修医が担当していたが、不在になってからは平日日勤帯も各診療科医師が交替で担当、また大学から非常勤医を派遣依頼する等なんとかやりくりして維持している。救急診療専門医の着任により少しやりくりが楽になると期待している。各診療科医師においても、本来の自身の診療に専念してもらえると考えている。</p> <p>委員長: 前回の岸和田地域連携フォーラムにて副院長医師から、救急診療科常勤医の不在で病院内が大変なことになっていると聞いた。各診療科医師の努力をありがたく思っている。市民病院に来ていただけるようになった方法はどのようなものであったのか。</p> <p>委員: 色々な大学の救命救急センターの教授に手紙を出して面会を申し出たり、人脈を頼りに救急専門医に個別に依頼をしたり、9 大学、個別には 11 人の医師に打診をした。出来ることを行い、あとは返事を待つだけとなっていた。なかなか良い返答を得ることが出来なか</p>
--	--

	<p>ったが、そんな中で今回の話があった。救急専門医の絶対数が多い訳ではなく当院も1年半以上不在となってしまった。</p> <p>委員長：医師の獲得に向けて、様々な大学に訪問しているということを知っている。種を撒いて努力が実った、と感じた。</p> <p>委員：救急専門医の着任には契約期間が定められているのか。</p> <p>委員：医師の場合、基本的に契約期間は無い。但し大学医局と縁のある医師であるため、急に退職するという可能性は少ないのではないかと考えている。</p> <p>委員長：他にご意見ご質問はないか。</p> <p>委員：病院で発行されている「うらら」は、内容も良くデザインも見易く好評である。しかしながら町内回覧で各家庭に回ってくるため、次の方へ早急に回覧しないとならず、自宅でゆっくりと閲覧することが難しい。じっくりと閲覧したい、手元に置いておきたい、という意見を聞く。配布方法を検討していただきたい。また入手方法や身体が不自由な方等病院までの来院が大変な方の対応方法を教えていただきたい。予算等の課題はあるが、全戸配布についても検討いただきたい。</p> <p>事務局：全戸配布については、町会連合会等でもお声をいただき検討中である。全戸配布とするうららの内容について吟味している。現行の様な内容が良いのか、病院の機能等を掲載したミニ保存版の様な内容が良いのか、どちらが各家庭に置いていただけるのかご意見をいただきたい。</p> <p>委員：ミニ保存版のようなものが良い。</p> <p>事務局：ご意見を頂戴し、来年の春を目処に全戸配布を検討したい。今年度末にもう一度うららの発行を予定しているが、それは町内回覧対応になる。その次の発行のタイミングで全戸配布対応をしたいと考えている。また既に発行済のうららはホームページからダウンロード出来るようになっている。</p> <p>委員：ホームページが見ることが出来ない方もいる。</p> <p>事務局：必要な方は病院までご連絡をいただけたら、郵送にて対応することになっている。</p> <p>委員長：他にご意見ご質問はないか。</p> <p>委員：現在女性医師は何名勤務しているのか。</p> <p>事務局：約20名程度である。</p> <p>委員長：他にご意見ご質問はないか。</p> <p>各委員：なし</p>
--	---

様式第1号（第6条関係）

	<p>委員長：ご意見なしということで、本案件を了承する。</p> <p>事務局：広報きしわだ12月号に患者支援センターが紹介される。ご高覧頂きたい。また、平成30年度第4回委員会は平成31年2月14日（木）に開催を予定している。</p> <p>5. 閉会</p> <p>以 上</p>
9 そ の 他	